

各関連機関の長 殿

(熊本大学・鹿児島大学)
ヒトレトロウイルス学共同研究センター長
久保田 龍二
(公印省略)

ヒトレトロウイルス学共同研究センタートランスレーショナルメディシン分野
担当特任准教授候補者の募集について (依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ヒトレトロウイルス学共同研究センターは、熊本大学エイズ学研究センターと鹿児島大学難治ウイルス病態制御研究センターを再編・統合し、平成31年4月に設置されました。

今回、鹿児島大学キャンパスのトランスレーショナルメディシン分野を担当する特任准教授候補者を公募することとなりました。

当該分野の特任准教授には、医薬品開発の経験があり、ヒトレトロウイルス学共同研究センターで生み出された創薬シーズの開発・実用化の業務を担当することができる人材を要望します。特に、医薬品実用化の実務経験のある人材を優先して募集いたします。また、鹿児島大学南九州・南西諸島域イノベーションセンターや大学院医歯学総合研究科とも連携して、関係業務を遂行して頂きます。さらに、ヒトレトロウイルス学共同研究センターが協力する鹿児島大学大学院医歯学総合研究科において、創薬に関する教育を行って頂く予定です。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮に存じますが、貴学(研究科, 学部)又は関係機関に適任者がおられましたら、下記の書類を添えてご応募くださるよう、周知方お願い申し上げます。なお、各種様式は本学ホームページ、JREC-IN Portal (研究者人材データベース) 又はUMIN からダウンロード可能となっております。

敬白

記

1. 募集人員 特任准教授(常勤) 1名
※クロスアポイントメント制度を利用した雇用も可能ですが、本学エフォートの割合が5割以上の方を優先いたします。
2. 任 期 令和7年6月1日(予定) ~ 令和8年3月31日
※令和12年4月30日まで単年度契約にて更新予定
3. 応募条件 (1) 博士の学位(学位を有しない場合には、それに匹敵する実務経験)を有すること
(2) 大学などの研究機関や企業などにおいて薬剤開発の実務経験を有することが望ましい
4. 提出書類 (1) 履歴書(様式1) 1部
(2) 業績調書(様式2) 1部
(3) 論文概要(様式2-2) 1部
(4) 主要論文別刷又は写し(3編) 1セット
(5) 小論文:「これまでの創薬に関する経験・着任後の創薬支援・教育に対する抱負」
(様式3、2000字以内) 1部
(6) 推薦書(様式自由, A4 版用紙使用, 推薦者のある場合のみ) 1部
5. 応募締切日 令和6年12月13日(金)17時必着
6. 選考方法 書類審査を行ったのち、書類審査を通過した方と面接審査(セミナー)を行います。
7. 提出方法 郵送又は所定場所へのアップロード
【郵送の場合】
「トランスレーショナルメディシン分野特任准教授候補者応募書類在中」と朱書きし、レターパックや書留郵便等の配達記録が残る方法で送付して下さい。
※紙媒体のものと併せて、電子データ(PDFファイル等)をCD、USB等で提出願います。
【所定場所へのアップロードの場合】
事前に、件名を「トランスレーショナルメディシン分野特任准教授候補者応募」とし、メールを下記の研究支援係まで送付して下さい。担当から書類送付先フォルダを連絡しますので、応募期限までに、応募書類一式をフォルダにアップロードして下さい。
8. 提出先及び問い合わせ先
〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21番24号
鹿児島大学研究推進部研究協力課研究支援係
E-mail: kyoriyo@kuas.kagoshima-u.ac.jp
(※を@に置き換えて下さい。)
TEL 099-285-3240(直通)

※個人情報の取扱い: 応募者から取得した個人情報については、鹿児島大学の職員を採用する目的だけに利用し、本学以外の第三者には提供又は公表いたしません。提出いただいた書類は、論文別刷以外返却いたしませんので、ご了承ください。
※本学は、女性研究者支援をはじめとする男女共同参画に係る取組を積極的に推進しており、女性研究者の積極的な採用・登用を行っています。このため、本公募による採用・登用に当たっては、能力等が同等であれば女性を優先いたします。
支援内容の詳細(取組み、各種制度、相談体制)については、下記ホームページをご覧ください。
(鹿児島大学男女共同参画推進センター <https://www.kagoshima-u.ac.jp/atshuhime/>)

応募上の注意

1 履歴書（様式1）

- (1) 学歴欄には、高等学校卒業以降に関する事項を記載してください。
- (2) 免許・学位・資格・称号欄には、医師免許等、認定医・専門医・指導医、学位（登録番号や学位記番号等を含む）、その他に関する事項を記載してください。
- (3) 学会活動欄には、加入年月日と所属学会名（各種研究会議等を含む）、役職名等を記載してください。
- (4) 賞罰欄には、賞罰を受けた場合は記載し、無い場合は「なし」と記載してください。
- (5) 職歴・研究歴欄には、職歴（所属、職名）と研究歴（所属教室、身分）の外、海外出張（職務の内容および目的等）、留学等（外国での身分）を記載してください。
- (6) 年については、西暦を使用してください。

2 論文別刷

【郵送にて提出される場合】

- (1) 自薦のもの3編を1セット（紙媒体）と電子データ（PDF ファイル等）を CD、USB 等でご提出ください。
- (2) 論文別刷は選考終了後に返却いたします。

3 小論文：「これまでの創薬に関する経験・着任後の創薬支援・教育に対する抱負」

2,000 字以内にまとめ、別紙様式3に記載してください。

4 その他

- (1) 書類は、黒色で鮮明に記載してください。
- (2) 論文別刷以外の応募書類等は原則として返却しません。なお、応募においてご提供いただいた個人情報は、本学の規定に従って適切に管理し、採用選考以外の目的には使用いたしません。

5 クロスアポイントメント制度とは

経済産業省と文部科学省が推進している人材交流制度であり、研究者等が大学、公的研究機関、企業の中で、二つ以上の機関に雇用されつつ、一定のエフォート管理の下で、それぞれの機関における役割に応じて研究・開発及び教育に従事することを可能にする制度です。